



車型別装着説明書

□対応車型

車名、通称名		車両型式	
スバル インプレッサ		GH-GDB	
年式	エンジン型式	製品番号	
'02/11~'04/6	EJ20(T/C)	149-F001	

□構成内容

No.	パーツ名	サイズ	数量	No.	パーツ名	サイズ	数量
①	スーパーキャタライザ	専用品	1	⑥	ナット	M8×P1.25	2
②	ガスケット	P105×φ75.2	1	⑦	ワッシャ	M8用	4
③	球面フランジアダプタ	P105×φ60.5	1	⑧	自動車試験証明書		1
④	専用オリフィス	φ4用	1	⑨	取扱説明書		1
⑤	ボルト	M8×P1.25×L40	2				

□スーパーキャタライザの装着方法

- 右図を参照して、スーパーキャタライザを装着し、各ボルトとナットの仮締付けを行ってください。
※右図のボルトとナットは複数の場合省略してあります。すべて取付けてください。
※フランジの形状により使用部品が異なりますので、装着図を参照して注意して取付を行ってください。
- スーパーキャタライザ装着後、別紙を参照し、付属の④専用オリフィスの交換、純正ターボチャージャーカバーの取付けを行ってください。
- マフラーの位置関係や自動車の床、クロスメンバ、その他の周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケットのずれを確認しながら仮締付けしてあったボルトとナットを前側から順番に指定トルクで締付けてください。

締付けトルク

- M6 6~7N・m(0.6~0.7 kgf・m) (純正ターボチャージャーカバー取付けボルト)
- M8 13~23N・m(1.3~2.3 kgf・m) (純正スプリングボルト)
- ※純正スプリング・ボルトの締付けは、左右均等に行ってください。
- M10 35~50N・m(3.5~5.0 kgf・m) (純正ターボチャージャーとフランジ締付けボルト)
- M10 30~40N・m(3.0~4.0 kgf・m) (ハンガーブラケット部締付けボルト)
- A/Fセンサ、O2センサ 24~34N・m(2.5~3.5 kgf・m)

- テールパイプと車両側バンパの位置関係、クリアランスを確認してください。不具合が発生した場合、最初から締めなおしてください。

△警告

特にブレーキ関係、燃料関係、駆動関係及び電気関係の配線とのクリアランスには、細心の注意を払ってください。

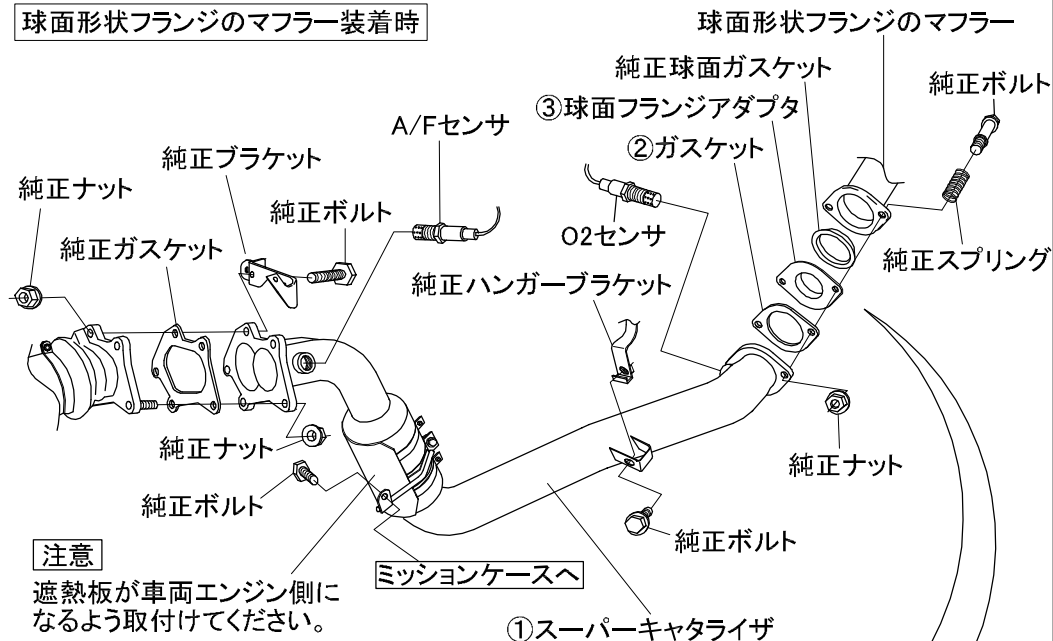
△注意

クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパの場合熱で溶けることがあります。

□スーパーキャタライザの装着状態の確認

- 全体の取付けが完了したら、再度マフラーを手で揺さぶり、各部のクリアランスを確認してください。
- エンジンを始動して暖機し、約2,500回転にして各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検してください。
- 試運転して再度、各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検してください。
- 4.1~3の項目に異常が発生した場合、面倒でも最初から装着をやりなおしてください。
- 取付け時より200km~300km走行後、各部に緩みが無い事を点検し、増締めを行ってください。

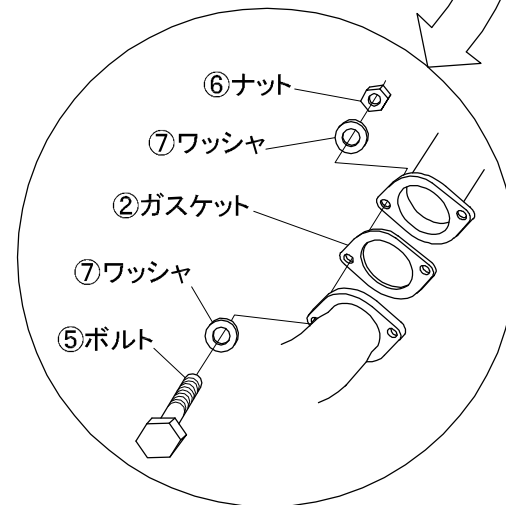
球面形状フランジのマフラー装着時



注意

遮熱板が車両エンジン側になるよう取付けてください。

①スーパーキャタライザ



球面形状フランジ以外マフラー装着時



車型別装着説明書

□スーパーキャタライザ取付け後の注意点

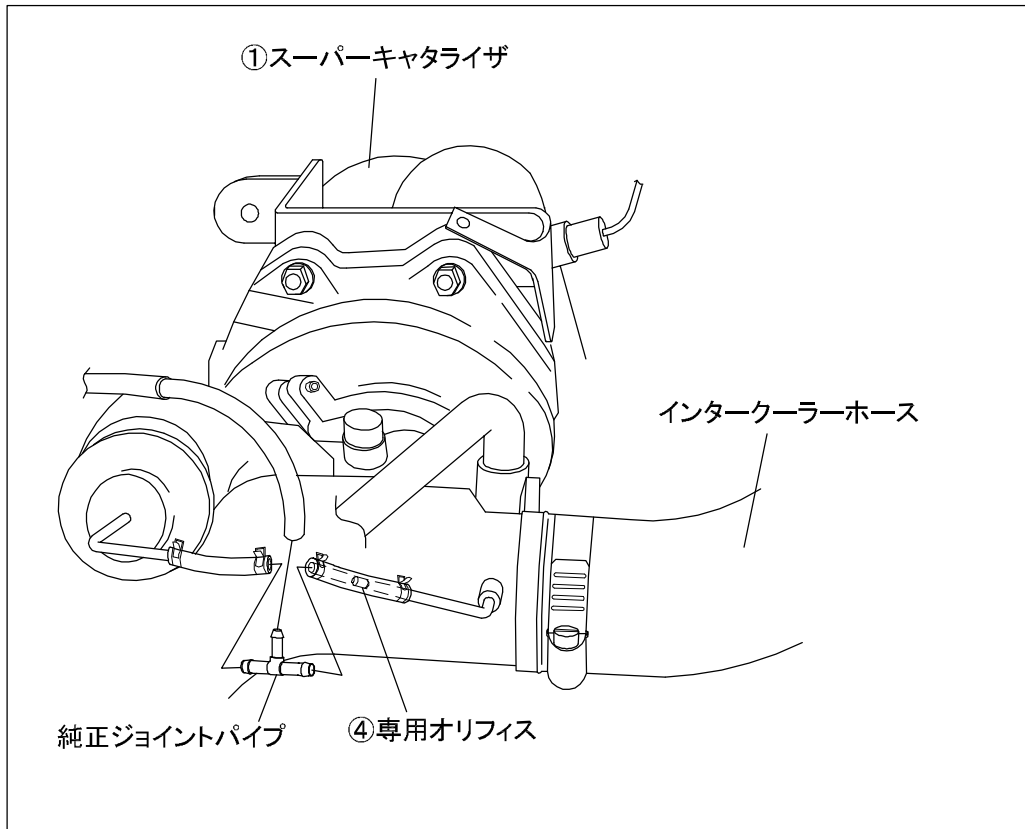
スーパーキャタライザの取付けによって、排気効率が向上し、ターボの最大過給圧が上がります。過給圧が上がりすぎると、エンジンを破損する原因となりますので、スーパーキャタライザ装着時には、純正ゴムホースに挿入されている純正オリフィスを付属の専用オリフィスと必ず交換してください。付属の専用オリフィスを使用することにより、最大過給圧を最適化し、過給圧を安定させることができます。

□オリフィスの交換方法

下図を参照して、純正ゴムホースに挿入されている純正オリフィスを付属の専用オリフィスと交換してください。専用オリフィスは純正ゴムホースにマーキングされている位置までしっかりと押し込んでください。

注意

ゴムホースを取付ける際は、純正ジョイントパイプの奥までしっかりと差込んでください。



□純正ターボチャージャーカバーの取付け方法

スーパーキャタライザを装着後、純正ターボチャージャーカバーを下図と整備解説書を参照して、取外し前と同様に取付けてください。

